

吟子は1908(明治41)年に再び東京に戻りました。本所区新小梅町(現墨田区)に医院を経営し、姉ともと養女トミと暮らしました。1913(大正2)年、助膜炎を発病し、同年5月脳動脈硬化により卒倒。そして6月23日、吟子は帰らぬ人となりました。葬儀は本郷教会にて執り行われ、雑司ヶ谷の地に眠っています。享年63。

▶左から 友子 吟子 トミ



一粒の麦 場面十三
晩年の吟子



女医会の講演で「男尊女卑の世の中、病に苦しむ女性を救うため、多くの女性医師が増えることを期待する」と、後輩たちに語る。

日本初の女性医師、荻野吟子の生涯 『一粒の麦』

群馬県太田市の「常磐学園」にて吟子直筆の手紙などを所蔵されている様々な資料をもとにお話をうかがいました。そして、熊谷市内、深谷市、国立市、さらに北海道瀬棚を撮影されました。映画制作にあたってはこの資料の読解が進められ、新しい吟子の人間像が反映されています。

『人その友の為に己の命をすつる。之より大いなる愛はなし』
(ヨハネ伝第十五章十三節)
荻野吟子が愛称した聖句。



パネルとのア
ハ

資料提供 (株)現代ふろだくしょん

写真提供 (株)トライストーン・エンタテイメント

引用元 映画『一粒の麦 荻野吟子の生涯』facebook / Imgrum#荻野吟子photos&videos

若村麻由美 mayumi wakamura official

写真と解説はイメージです。史実と異なる場合もあります。